

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-29

甲第十一号

(発行年 / Year)

1910

乃至四、連四三、四六七一、七〇一八〇、八五六〇、六白草一〇
 八九獨一章八六八、巴草三部一章五六六、六六四一五、
第七十九條 動産ニ關スル物權ノ讓渡ハ別段ノ定アル
 場合ヲ除ク外其引渡アルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ
 對抗スルコトヲ得ス

(參照) 册三四六、捕一〇、二、一項、証一四四、佛一一四二、澳四二六
 蘭六六七、伊一一二六、瑞債務法一九九二〇、〇、モンテネグロ
 六五、白草一〇九〇、巴草三部一章九三

第二章 占有權

第一節 占有權ノ取得

第八十條 占有權ハ自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ物ヲ
 所持スルニ因リテ之ヲ取得ス

(參照) 册一八九、佛二二二八、澳三〇九三一二、三一四、蘭五八五
 五九四、露三一八、伊六八五、ウオー一六三七、クワグエンテ
 ン一八〇、ツェーリヒ六三六、四、モンテネグロ八一、八一、二、
 八一四、西四三〇、四三二、四三八、白草二三七五、獨一章七九七
 普一部七章一乃至三五〇、五一、索一八六一、九四一九六乃至

一九九巴草三部一章一

第八十一條 占有權ハ代理人ニ依リテ之ヲ取得スルコ
 トヲ得

法定代理人ハ自己ノ意思及ヒ所爲ヲ以テ本人ノ爲メニ
 占有權ヲ取得スルコトヲ得

(參照) 一〇三、册一九〇、澳三一〇、蘭五九六、グワグエンテン
 一八〇、ツェーリヒ六七、モンテネグロ八一、八一、一七、西四三
 一、四三九、獨一章八〇、一、索一九三二〇、二、二〇三、巴草三部一
 章六乃至八一〇、一一、一二〇

第八十二條 占有權ノ讓渡ハ占有物ノ引渡ニ因リテ之
 ヲ爲ス

占有權ノ讓渡ハ當事者ノ意思ノミニ因リテモ之ヲ爲ス
 〆コトヲ得但此場合ニ於テハ讓受人又ハ其代理人カ現ニ
 其占有物ヲ所持スルコトヲ要ス

(參照) 册一九一、獨一章八〇、三乃至八〇、五一、項、索二〇〇、巴草
 三部一章五

第百八十三條 占有取得ノ權限アル代理人カ自己ノ占有物ヲ爾後其本人ノ爲メニ占有スヘキ意思ヲ表示スルトキハ本人ハ之ニ因リテ占有權ヲ取得ス

(參照) 一〇九附一九二三項獨一章八〇五二項

第百八十四條 代理人ニ依リ占有ヲ爲ス場合ニ於テ本人カ其代理人ニ對シ爾後第三者ノ爲メニ其物ヲ占有スヘキ旨ヲ命シ第三者之ヲ承諾シタルトキハ其第三者ハ占有權ヲ取得ス

(參照) 瑞債務法二〇一、獨一章八〇五索二〇一

第百八十五條 權原ノ性質上占有者ニ所有ノ意思ナキモノトスル場合ニ於テハ其占有者カ占有ヲ爲サシメタル者ニ對シ自己ニ所有ノ意思アルコトヲ通知シ又ハ新權原ニ因リ更ニ所有ノ意思ヲ以テ占有ヲ始ムルニ非サレハ占有ハ其性質ヲ變セス

(參照) 附一八五一九二二項佛二二三六乃至二三八モンテ
ネダロ八一五索一九五巴章三部一章九

第百八十六條 占有者ハ所有ノ意思ヲ以テ善意平穩且公然ニ占有ヲ爲スモノト推定ス但反對ノ證據アルトキハ此限ニ在ラス

前後二箇ノ時期ニ於テ占有ノ證據アルトキハ其占有ハ繼續シタルモノト推定ス但中斷ノ證據アルトキハ此限ニ在ラス

(參照) 附一八六乃至一八八佛二二三〇二二三二三四澳
三二三三二八蘭五八九五九〇伊六八七六九二六九二七〇
一七〇二ゾォー一六三九一六四三グワブエントデー一八
三三項ヲ、トリヒ七二七三七四七六七七八ベルン三五六ル
一セルシ二二八モンテネグロ八一六西四三四四四八白章
二三八六乃至二三八八索一八八一八九巴章三部一章一四
一九

第百八十七條 占有者ノ承繼人ハ其選擇ニ從ヒ自己ノ占有ノミヲ主張シ又ハ自己ノ占有ニ前主ノ占有ヲ併セテ主張スルコトヲ得

前主ノ占有ヲ併セテ主張スル場合ニ於テハ其瑕疵モ亦之ヲ承継ス

(參照)財一九二佛二二三五伊六九三蘭五九七ウオ一六四
四ウエーリヒ六九西四四〇四四二獨一章八一八巴草三部
一章一一二

第二節 占有權ノ效力

第百八十八條 占有者カ其占有物ノ上ニ行使スル權利ハ反對ノ證據ナキトキハ之ヲ適法ニ有スルモノト推定ス

(參照)財一九三澳三二三蘭六〇四一號六〇五一號露三〇六
グラウブエンデン一八四

第百八十九條 善意ノ占有者ハ其占有物ヨリ生スル果實ヲ取得ス

善意ノ占有者カ本權ノ訴ニ於テ確定ニ敗訴シタルトキハ其出訴ノ時ヨリ惡意ノ占有者ト看做ス

(參照)財一九四佛五四九五五〇澳三三〇三三八蘭六〇四三
號六〇五二號伊七〇三ウエーリヒ八五八六モシテネグロ

二二八二二西四五一四五二

第百九十條 惡意ノ占有者ハ果實ヲ返還シ且其既ニ消費

シ過失ニ因リテ毀損シ又ハ收取ヲ怠リタル果實ノ代價ヲ償還スル義務ヲ負フ但之ニ對シテ果實ノ通常ノ負擔タル費用ヲ償還セシムルコトヲ得

強暴又ハ隱秘ニ因ル占有者ニモ亦前項ノ規定ヲ適用ス
(參照)財一九五三六一三七〇佛五四九一三八二一三八三瑞
債務法二〇七ウエーリヒ九〇モシテネグロ二三八一八九西
四五二四五三四五五

第百九十一條 占有物ノ滅失又ハ毀損カ占有者ノ所爲又

ハ過失ニ因ルトキハ惡意ノ占有者ハ其回復者ニ對シ賠償ノ義務ヲ負ヒ善意ノ占有者ハ其滅失又ハ毀損ニ因リ利益ヲ受ケタル限度ニ應シ賠償ヲ爲ス義務ヲ負フ

(參照)財一九八西四五六四五七

第百九十二條 所有ノ意思ヲ以テ平穩且公然ニ動産ノ占有ヲ始ムル者カ善意ニシテ且過失ナキトキハ即時ニ其

有保持ノ訴ニ依リ其障害ノ停止又ハ之ト共ニ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

(參照) 附二〇〇・二一〇・四四號六〇・五三號六〇・六六一

一・六一五ヲウーリヒ八〇・モンテネグロ一九號二〇五巴章

三部一章三二

第百九十九條

占有物ノ保全ニ付キ危害ノ虞アルトキハ占有者ハ占有保全ノ訴ニ依リ其危害ノ豫防又ハ損害賠償ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

(參照) 附二〇一・二二一〇・澳三四〇乃至三四三・伊六九八

一項

第二百條

占有者カ其占有ヲ奪ハレタルトキハ占有回收ノ訴ニ依リ其物ノ返還又ハ之ト共ニ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

占有回收ノ訴ハ侵害者ノ特定承繼人ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得ス但其承繼人カ侵害ノ事實ヲ知りタルトキハ此限ニ在ラス

(參照) 附二〇四號六〇・四四號六〇・五三號六一九六二〇・六二二

二伊六九五六九六ヲウブエンテシ一八四二項クエーリ

ヒ八一乃至八三モンテネグロ一九號二〇九巴章三部一章

三三三五

第二百一條

占有保持ノ訴及ヒ占有回收ノ訴ハ障害又ハ侵害ヲ受ケタル時ヨリ一年内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

占有保全ノ訴ハ危險ノ存スル間ハ之ヲ提起スルコトヲ得但新工事ニ因リ占有物ニ危害ヲ及ボスヘキ虞アル場合ニ於テ其工事ノ竣成シタルトキ又ハ之ニ著手シタル時ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

(參照) 一六四附二〇六佛民訴二三・附六一四六二一伊六九四

六九五六九八一項ダラツブエンテシ一八四クエーリヒ八

四・モンテネグロ二一號二一〇巴章三部一章三八

第二百二條

占有ノ訴ハ本權ノ訴ト互ニ相妨クルコト無

判事ハ本權ニ基キテ占有ノ訴ヲ裁判スルコトヲ得ス

(參照)財二〇七乃至二〇九二一三佛民訴二四二六二七伊六

九七モンテネグロ八二一獨一章八二三獨民訴二二二巴一

千八百七十九年二月二十三日法八二

第二百三條 占有ノ訴ノ被告ハ反訴ニテ占有ノ訴ヲ起ス

コトヲ得但本權ノ訴ハ反訴トシテ之ヲ提起スルコトヲ

得ス

(參照)財二一〇

第二百四條 占有ノ訴ハ本權ノ訴ト併合スルコトヲ得ス

(參照)財二〇七一項民訴一九一佛民訴二五獨民訴二二二二二

項

第三節 占有權ノ消滅

第二百五條 占有權ハ占有者カ占有ノ意思ヲ放棄シ又ハ

占有物ノ所持ヲ失フニ因リテ消滅ス

(參照)財一二三二二一三澳三四九三五〇三五二蘭五九九乃至

六〇三ヲ。一七九六乃至一〇三モンテネグロ八三〇西

四三七四六〇四六一獨一章八〇六八〇八乃至八一〇案二
一乃至二一三巴草三部一章二二

第二百六條 占有者カ他人ノ侵奪ニ因リ占有物ノ所持ヲ

失ヒタルトキハ其占有者ハ占有回收ノ訴ヲ提起セシ

テ一年ヲ經過シタルニ因リ占有權ヲ失フ

(參照)財二一三西四六〇巴草三部一章二四

第二百七條 代理人ニ依リ占有ヲ爲シタル場合ニ於テハ

占有權ハ左ノ事由ニ因リテ消滅ス

一 代理人カ占有物ノ所持ヲ失ヒタルコト

二 本人又ハ法定代理人カ占有ノ意思ヲ失ヒタルコ

ト

三 代理人カ本人ニ對シ占有物ヲ爾後自己又ハ第三

者ノ爲メニ所持スル意思ヲ表示シタルコト

占有權ハ代理權ノ消滅ノミニ因リテ消滅セス

(參照)フューリヒ一〇四獨一章八一三案二一五二一六巴草

三部一章二八乃至三〇

第四節 准占有

第二百八條 本章ノ規定ハ自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ
權利ノ行使ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

(參照)附一八九漢三一乃至三一四フヘーリロ一〇五巴章
三部一章四三

甲 第十三節

第二節 所有權ノ取得

第一款 先占

第二百三十八條 無主ノ動産ハ所有ノ意思ヲ以テ之ヲ占
有スルニ因リテ其所有權ヲ取得ス

無主ノ不動産ハ國庫ノ所有ニ屬ス

(參照)附二二三二項取二三佛五三九七一三埃三八一三八二二
八六三八七蘭六三九乃至六四〇伊七一〇ザラー五〇三ダ
ラウブユンデン一八九一九〇フエーリロ一九五二〇二、
ンテチダロ七四七七八西六一〇、白章七三六、獨一章九〇
三乃至九〇五同二章八七三乃至八七五普一部九章九一四
乃至一八索二二七二二八、二九四加一〇〇六、紐章四四〇

第二百三十九條 所有ノ意思ヲ以テ他人カ飼養セル野栖
ノ動物ヲ占有スル者ハ其占有ノ始善意ナルトキハ其動
物ノ所有權ヲ取得ス但二十日內ニ所有者ヨリ返還ノ請
求ヲ受ケタルトキハ此限ニ在ラス

(參照)取一三伊七一三二二項西六一二、三項獨一章九〇五、二項
三項同二章八七五二項三項